

8月6日、私たちは東京大学のオープンキャンパスに参加した。東京大学（以下「東大」）にくるのは初めてだったので中の施設がどんなものか、割と興味を持っていた。

……その前に、私たちの班はガッツリ通勤ラッシュに引っかかった。多少覚悟はしていたが、首都圏の通勤ラッシュは、仙台の同じ時間帯の電車と比べて、規模がだいぶ違った（私の感覚で）。どう考えても無理っぼいの無理やり乗り込もうとする人たち。車両の真ん中にいる人たちはちゃんと降りれるのかと少し心配になった。しかし、この通勤ラッシュは、人ごみとか人が多いところがあまり得意でない僕にとっては、けっこう身に応えた。これを毎日のように電車通勤の方々はこなしているらっしゃると思うと、背筋に怖気が走った。将来は自転車か徒歩で通勤しよう、と心に誓ってみたりした。

そんなことは置いておいて、とりあえず東大赤門について私がまず思ったのは、赤門って思ってたよりも小さいんだな、ということだった。もう少し大きいのを想像していたので拍子抜けだった。その赤門をくぐり、私たちは東大の敷地内へと足を踏み入れた。

というわけで、ここからは東大のオープンキャンパスで見たものの感想を並べていこうと思う。

まず1つ目は、図書館。東大には、学内に35の図書館・室があり、その蔵書数は、なんと、9,353,167冊(2013年度)にも及び、日本では、国立国会図書館に次いで2番目に規模が大きいという。9,000,000冊。そんな数の本、たぶん一生かけても読み切れないだろう。私は、ぜひそんな総合図書館に入りたいと思っていた。が、しかし、まさかの総合図書館は工事中で、中に入ることはできなかった。残念。非常に残念。なお、無料で配布していたパンフレットによると、この図書館は、内部を全面改修し、2019年にリニューアルオープン予定らしい。完成したらぜひ行ってみたい。にしても図書館に入れなかったのは残念の一言に尽きる。……図書館にいれば1日時間潰せたのに、なんて考えてませんよ？

続いて2つ目は、育徳院心字池。ここに訪れたのは、午後、集合時刻の4～50分前くらいだったか。とかくすることもないので適当に歩いていたら、かなりいいところだったので結構印象に残っている。なんだかやたらと面倒くさい名前のこの池は、別名「三四郎池」、とも言う。こっちの呼び名のほうが有名だろう。むしろ、育徳院心字池、と聞いて三四郎池のことだとわかる人のほうが少ないだろう。ちなみにこの池は、夏目漱石の小説「三四郎」のなかで、主人公の小川三四郎と、ヒロイン（で合ってるのかな？）の里見美禰子が出会った場所だということにちなんで三四郎池と呼ばれることになったそう。

私はここで無駄に写真を撮りまくった。けっこうきれいなところで、割といい写真が撮れたと思う。ああいう、木に囲まれた水辺って、なんだか心が落ち着く感じがする。校内にああいう場所があるのは、本当にいいことだと思う。自然ってスバラシイ！観光名所とか言ってビルなんて建ててないで、こういう場所をもっともっと増やして行ってほしいと思う。

3つ目は、安田講堂。4、50年前に、学生運動だかなんだかで、学生たちが占拠してたりしたところだ。彼らは最終的に機動隊により強制排除され、その後、大講堂は長期にわたって荒廃状態のまま閉鎖されていたが、旧安田財閥ゆかりの企業の寄付もあり、1988年から1994年にかけて改修工事が行われ、再度供用されている、という歴史がこの建物にはあるらしい。すごい歴史を感じる。今ふと思ったのだが、4、50年前のことがもうすでに歴史上の出来事になりつつある、というのはなにかさみしい感じがした。ほかに、たとえば高度経済成長だったり、ソ連の解体だったり、そういったことがどんどん過去へと押し流されていく、そういう感覚。自分たちが年老いるころには、日本史だとか世界史の時間に、子供のころにあったことをやっていたりするんだろう、と思うとなんとか不思議な気分になる。安田講堂には、実際に弾痕が残っていたりして、本当に学生運動とかがあったんだな、となんとか感慨深かった。

ここでは、各学部の説明会みたいなものをやっていた。私は、法学部と医学部と工学部のそれを拝聴した。…

…私は工学部志望なので、前の2つはあまり見る意味がなかったかもしれないが、それなりにいい話を聞けたと思うし、私個人としてはとてもいい体験だったと思う。ちなみに、講堂の中は外に比べてとても涼しく、工学部の説明の時間の近くになるまでずっと外にいた私にとっては、もう天国のように感じた。

話を聞いていて驚いたのは、文Iとかから理系の学部に行く、いわゆる「理転」をする人がいる、ということだ。そういう進路選択もできる、ということについては東大はいいところだと思った。

あとは、東大の工学部が、世界の大学と比べてあんな高い位置にいるとは思ってなくて割とびっくりした。申し訳ありません、東京大学工学部の皆さん。ちょっとあなたがたのことナメてました。とても見直しました。あなたがたの研究は、どれも素晴らしいものばかりです。これからも頑張ってください。応援しています。

……話が逸れた。工学部だけでなく、ほかの学部の話聞いてみても、そのたびに日本最高峰の大学なんだ、ということが身に染みて理解できた。

ここまで、3つほど私がオープンキャンパスで行ったところを紹介してきたが、いかがだったでしょうか。お気に召していただいたのなら幸いです。講義とかは受けてない、というか受けられなかったのもそういう勉強系に関する感想はあまり書けなかったのだが、その辺はあまり気にしないでいただけると助かる。フォローを入れておくとすると、確かに講義を受けることも重要だとは思う。しかし、外を見て回るだけでも、いろいろな発見ができるものだと私は思う。……フォローになってないか。

最後にまとめを。私は、今のところは東北大学工学部を志望している。しかし、目標を高く設定しておいて損はないとも思う。まあ、しかし、どこを目標にするにしても努力は必要だろう。自分が目指す道に、思い描いた通りに進めるよう、これからも研鑽をつんでいこうと思う。